

医療ガス容器点検キャンペーン

！ 放置ボンベが 重大事故の原因に

2025年

東京都江戸川区の工事現場で地中に埋まっていたアセチレンボンベに穴が空きガスが漏れて爆発、工事車両の燃焼や周辺の住宅や店舗など38棟に被害が発生

2024年

東日本の医療機関にて長年放置されていた医療ガスボンベ1本が破裂、医療機関の建物に被害が発生

事故の詳細情報・本ポスターのダウンロードは▶
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1606>



ボンベの一点検

保管方法の確認

- 転倒防止措置
- 充ボンベ・空ボンベの区別
- ガス種を分ける

事故誘因ボンベの確認

- 調整器・バルブの不具合等

長期停滞ボンベ の発見・把握

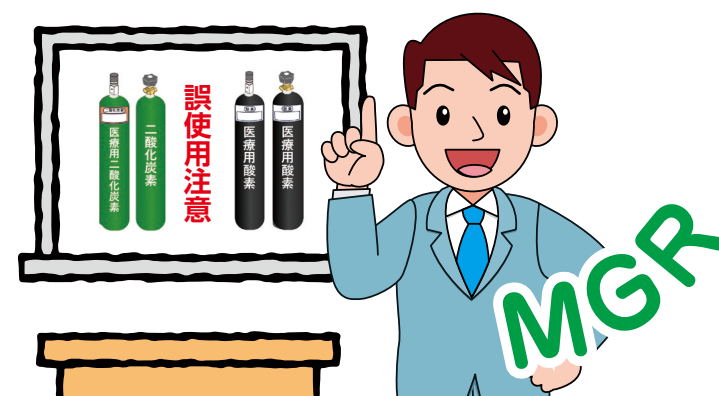
Check!!
Check!!



2025年
10/1(水)~11/30(日)まで

職員研修のサポート

医療ガス安全管理委員会
が行う院内講習会を
サポートし、
ボンベの安全な取扱
方法の啓発を推進



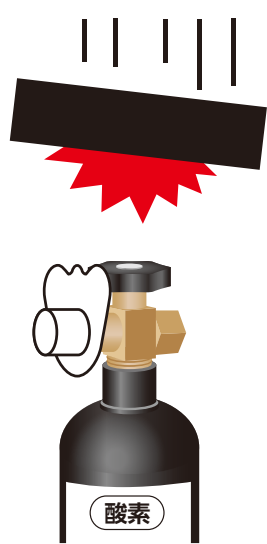
MGR:医療ガス情報担当者

保管環境の確認



腐食による破裂

- ボンベ下部に土や水分が触れていないこと
- 海からの塩分が付着していないこと
- 塩素系消毒薬の近くに置かない



落下物による ボンベ又は バルブの破損

ボンベスタンド付近の
棚から物が落ちない
ようにすること



高温下における 圧力上昇による 安全弁作動・ ボンベ破裂

室温が40℃を
超えないこと
(亜酸化窒素は35℃)

ボンベの長期留置又は放置による事故の発生及び空ボンベの誤使用を防止するため、医療ガス納入業者と協議の上、納入時期を明示するなどして定期的にボンベの点検及び管理を行うこと。

令和3年12月16日医政発1216第1号厚生労働省医政局長通知「医療ガスの安全管理について」における「別添4. 医療ガスに係る安全管理のための職員研修指針」の医療ガスボンベの安全管理に関する留意点